Release

フランクフルト・アム・マイン 2024 年 12 月 12 日

マルクス・クロミクをドイツ銀行のチーフ・リスク・オフィサーに任命

ドイツ銀行の監査役会は、マルクス・クロミクをチーフ・リスク・オフィサーおよび取締役会メンバーに任命しました。クロミクは、2025 年 5 月 20 日付で就任し、オリヴィエ・ヴィニュロンの後任となります。ヴィニュロンは、このほど 2025 年 5 月 19 日に満了する契約の延長を行わない意向を当行に伝えました。クロミクは、コメルツ銀行で最高リスク管理責任者を 8 年間務めるなど、過去 20 年間にわたって財務部門およびリスク管理部門の管理職を歴任してきました。クロミクは、5 月 1 日付でドイツ銀行の取締役会に加わり、その後、ヴィニュロンが当行を退職する時点で、リスク部門でのすべての責任を引き継ぐ予定です。

監査役会会長のアレキサンダー・ワイナンツは、「オリヴィエ・ヴィニュロンは 2022 年に取締役会に加わって以来、当行のリスク部門を強化するために尽力してくれました。その多大な貢献と献身に感謝の意を表します。彼の今後の活躍を祈っています。同時に、マルクス・クロミクのような高く評価されているリスク管理者を、ドイツ銀行の次期チーフ・リスク・オフィサーとして迎えられることを大変嬉しく思います。」と述べました。

チーフ・エグゼクティブ・オフィサーのクリスティアン・ゼーヴィングは、「マルクス・クロミクはリスク管理者として高い評価を受け、上級幹部職としての経験も豊富であり、強力なリーダーとしての定評があります。世界経済が厳しい環境にある中で、彼の経験によって、当行のリスク管理能力はさらに強化されるでしょう。彼と一緒に働くことを大変楽しみにしています。また、この場を借りて、オリヴィエ・ヴィニュロンの功績、献身そしてパートナーシップに心から感謝の意を表します。」と述べました。

原子核物理学の博士号を有するマルクス・クロミクは、2004 年にポストバンクに入行し、20 年以上にわたり銀行業務に従事し、リスク管理部門および資本市場部門において役職を歴任しました。2009 年にコメルツ銀行に入行し、リスク管理部門の上級管理職に就いた後、2016 年に最高リスク管理責任者に任命されました。2023 年、クロミクは契約を更新せず、他の分野に進むことを決意しました。直近では、ウニクレディトの取締役会の非業務執行メンバーを務めていましたが、ドイツ銀行に入行するためにその職を退きました。

マルクス・クロミクは、「欧州における有数の金融機関の一つであり、数少ない真のグローバルな銀行の一つでもあるドイツ銀行の取締役会に加わることは、私にとって大変光栄なことです。今後予想される不安定かつ、急速に変化する経済環境を乗り越えていくために貢献できることを楽しみにしております。」と述べました。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、個人顧客、中小企業、事業法人、各国政府および機関投資家に対し、リテール・バンキング、プライベート・バンキング、コーポレート・バンキング、トランザクション・バンキング、融資、資産運用の商品およびサービスならびに焦点を絞った投資銀行業務を提供しています。 ドイツ銀行は、欧州に深く根ざしつつグローバル・ネットワークを有するドイツ有数の銀行です。

将来の事象に関する記述

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、当行の考えおよび予想ならびにその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行の経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。したがって、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当行はこれらの記述に関して、新しい情報または将来生起した事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。したがって、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。

これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当行が収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当行の経営戦略の実施、当行のリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。

このような要因については、SEC に提出した当行の 2024 年 3 月 14 日付 Form 20-F の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該文書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。